学校番号	3032B

令和８年度　　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	（学）器楽演奏Ｂ	単位数	1	年次	2・3年次後期
使用教科書							
副教材等	夢みるピアニスト　こどもの初級ピアノ小曲集　１巻（ドレミ音譜出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ピアノの教則本を使用し、基礎的な練習から始めます。
・読譜に必要な基礎的な音楽理論を身に付けます。

２　学習の到達目標

・楽器特にピアノの演奏における基礎的な知識や技能を身につける。
・童謡・子どもの歌などの曲を演奏する際に聞き手を意識し、適切な表現で引くことができる。
・自らが音楽での活動に楽しみを見出し、前向きに取り組もうとする姿勢や態度。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歌詞を理解し、正しい音程・リズムで歌唱する技術を身につける。楽器と歌唱を同時に演奏する弾き歌いの技術を身につける	発声・曲想と歌詞との関わり・ピアノの音色や旋律の特徴を理解し、旋律の抑揚等を考え創意工夫して表現する。	自らが音楽で表現する楽しさを感受すること。自らのピアノ伴奏や歌唱により、幼児・児童に歌唱や器楽演奏等の音楽への興味や楽しさを分かりやすく伝えること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	題材の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期		読譜 鍵盤 演奏練習（伴奏） 弾き語り	a.楽譜が読めるようになる。鍵盤の特徴を理解し、演奏するとこができる。 b.音符や休符、音程、音階、和音などの楽典を理解し、曲想に合わせて演奏することができる。音楽を形作っている要素とそれらの働きを理解し、イメージを持って創造的に音楽を作る。聞き手を意識し、適切に演奏することができる。 c.表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート 実技テスト	観察 課題プリント ノート